

義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ④

東国分中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第4回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和2年9月2日(水) 17時00分～18時15分
- 2 会 場 市川市立東国分中学校
- 3 構 成 ・委員長：大学教授
(19名) ・委員：各学校(東国分中・曾谷小・稲越小)の学校運営協議会代表
- 4 内 容 ・主に「中間報告会」の報告と、「併設型小・中学校」についての協議を行いました。
- 5 説明事項及び協議内容

※ 教育委員会の説明事項は概要を記載しています。「会議資料」をホームページに掲載していますので、詳しくは、そちらをご覧ください。

教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会

※ 協議の内容は、意見等を出来るだけ詳しく記載し、検討委員会の様子をお伝えすることとしています。

(1) 義務教育学校の設置に関する検討の中間報告会について【実施日：7月30日(木)】

① 説明事項：質疑応答のまとめ(概要)【第1部：15:00～16:10(4人) 第2部：18時00分～19:10(3名)】

1部 出席者(○)	1部 事務局(●)
○令和12年度までは、6年生になったら東国分中に行くというやり方で考えているのですか。	●6年生が東国分中に行くかどうかは、実際にスタートしてから、3校の先生方が話し合って決めます。
○先生方が中学校から小学校に来たりすることを、まずは始めようという事ですか。	●中学の先生が小学校に来て教科担任制を行ったり、6年生が中学校に通ったりすることができるようになるという事です。
○一体型校舎の場所や、想定される児童・生徒数はどうなるのでしょうか。	●一体型校舎の場所は、検討委員会で検討を進めます。令和12年度の推計では、3校を合わせた児童生徒数は710人ほどになります。
○検討委員会には、東国分中と曾谷小と稲越小の保護者は入っているのですか。	●検討委員会は、各学校の学校運営協議会の代表の方が入っていますが、保護者の代表(PTA会長)も入っています。
○他の小学校から一貫校に進学すると中1ギャップになると思います。これからの子供の様子を見てほしいです。	●そのようにしてまいります。
○一貫校に行って、合わないと思って他の小学校に通うとか、中学校から行くといった事が可能でしょうか。	●色々な事情があつて学校を替わる事は可能だと考えています。指定校変更制度についても、学区と合わせて整理をしていく必要があります。
○曾谷小学校には特別支援学級がないので、一体型校舎では、そういう面でも通いやすくなってほしいです。	●特別支援学級のことは、昨年度の説明会でもご意見を頂いています。特別支援教育の一貫教育も含めて検討を進めてまいります。
2部 出席者(○)	2部 事務局(●)
○曾谷小の場所を小中一貫校にするという方向で進んでいるのですか。	●一体型校舎の設置場所は今後の検討課題となっており、現在は未定です。1つの学校にするという方向が決まったら、場所の検討になります。
○令和12年度が供用開始という予定になっていますが、前倒しや、後ろに行くといった可能性はありますか。	●現在の建て替え計画に合わせて説明をしていますので、今後、前に来たり後ろに行ったりする可能性は、全くないとは言えません。
○一貫校では、小・中の子供たちの関りのために、週にどのくらいの時間が設けられているのでしょうか	●塩浜学園では、入学式などの学校行事は合同でやっていますが、それ以外は、その時々学習に合わせて進めています。
○すべての行事を行うことが難しくなるというのは、例えばどういことですか。	●例えば運動会・体育祭を一緒にやっていたときに、今まで3つの競技に出ていたものが2つになるなどの縮小があるということです。
○9年制になることによって、小学校6年生で受験をする場合はどうなるのですか。	●6年生が修了したら、卒業証書と同等の前期課程修了証書ももらいます。他の公立中学校や私立中学校へ行くこともできます。
○卒業ではなく、修了という事ですか。	●前期課程修了証書は、小学校課程を修了したことと同等になります。
○今後、併設型小中学校を挟んで、一貫校にしていくという事ですか。	●義務教育学校にする前に、まずは今の学校形態のまま、小中一貫教育を進めようという提案です。
○一貫校は別の小・中学校で習う事とギャップはあるのですか。また、デメリットにはどういうものがあるのですか。	●学習は他の小・中学校と変わりません。但し学習の前倒し等をした場合は違いが出てきます。制度自体にはデメリットはないと思います。但し教員の多忙化等の学校運営上の課題が、子供にどう影響するかは精査が必要です。

○親の関わり方の変化というのは、存在するのですか。例えばPTAはどうなるのですか。	●塩浜学園は、PTA は一つになっています。併設型の場合は、PTA 組織は変わりません。現在のままという事になります。
○一貫校が人気になると、越境の人は抽選になったり、入れなかつたりするのですか。学区はどうなるのですか。	●現在は学校施設に余裕のある場合に入学できます。現在、市内全体の学区について、審議会に諮問をしています。
○12歳という区切りが特別であれば別ですが、そこでリーダーであったために、中一ギャップにつながっている可能性もあると思います。9年で育てたいなら、9年で結果が出ればよいという大きなビジョンで捉えて、小6という途中のリーダー性にこだわりすぎなくても良いと思います。教師の多忙化で言うと、多忙なために教員が一貫校に行きたくないということもあるかも知れません。そうすると、子供にとってのメリットが大人にとってのデメリット、結果的に子供のデメリットにつながらないかという危惧があります。併設型では「9年間」に気持ちが行くために、各校長先生がそれぞれのリーダーシップを発揮しきれずに、本来学校でやりたかったことが出来なくなってしまうのか心配を感じました。	

② 協議の内容 (○：委員長及び委員 ●：事務局)

○中間報告の参加は、1回に4名だけ、3名だけという事ですか。この数については、随分少ないという感想を持っているのですが、興味がないのか、連絡がうまくいっていないのか、そこについてはどんな受け止め方をしているのですか。また、教職員にも説明をしたということですが、どんな形で説明したのですか。
●人数ですが、エントリーを頂いたのが4人と、3人でした。学校から何度もメールを流して頂いたり、口頭でもお願いをして頂いたりしたのですが、7名という事でした。動画の配信についても、2つの動画それぞれが40回、45回再生でしたので、周知の仕方、アナウンスの仕方にも課題があったと反省しています。次回は別の方法での周知も検討していきたいと考えています。先生方への説明は、私たちが直接学校にお伺いをさせて頂き、職員会議や打合せの中でお話をさせて頂きました。

(2) 併設型小学校・中学校について

① 説明事項：中間報告会で出された意見の論点整理

併設型小学校・中学校への期待について	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな変化がないことに安心感がある ・ゆっくりとした変化で児童生徒への負担軽減を期待 ・誇れる学校にするために協力したい ・6年生のリーダー性の確保が重要 ・9年間でリーダー性を育てる際、どの学年で育てるかの検討が必要 ・5、6年生の部活動への参加に期待 ・特別支援教育でも通しやすい学校となることに期待
併設型小学校・中学校への課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・一貫教育と各小中学校の独自性の間で学校経営にやりずらさが生じるのではないかと ・小中一貫教育の実施に伴う多忙化等の課題が解決されなければ、教員にとってのデメリットが児童生徒のデメリットにつながる心配がある
併設型小学校・中学校の具体的な運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生から東国分中学校へ行くなど、具体的な運営方法を早く知らせて欲しい
学区について	<ul style="list-style-type: none"> ・他の中学校ブロックから転入、あるいは転出する際に不利にならないように、中1ギャップを感じないようにすることが大切 ・今の制度では学校を選択できるが、併設型小学校・中学校でも可能か ・国分小、中国分小の扱いを検討する必要がある
P T A等の親の関わりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階でP T A等の会合があっても良い

② 協議の内容 (○：委員長及び委員 ●：事務局)

○この会は何か議決して決定する機関ではないことは、最初に説明がありました。決定は教育委員会ですという事ですが、この委員会は地域を代表しているという事で、課題や提案を教育委員会と協議する場であることを改めて確認させて頂きます。
○併設型と言うのは、移行期間という事ですね。それだとあまり現行と変わらないので、今通っている子供たちにとっては安心だと思いののですが、これから年度が進んでいって同じ学校として一体型になった時には、子供たちも増えてくるわけです。そうすると、予め「同じ学校で、同じ屋根の下で勉強するんだ」という事を、もう少し移行期間を細かく分けて進めるというのもあると思いました。例えば何年生は曾谷小で、何年生は稲越小でと言うようなこともあるのかなと思いました。
●3年度にスタートしてから各学校の校長先生を中心に、どのようなやり方でやっていくのかを相談しながら進めていきたいと思えます。保護者の皆様からも、「6年生が東国分中に通うのですか」という形態についてのご質問を頂いているので、何年生から中学校に行くのか、何年生はどのような内容とするのかと言ったことを、系統立ててつくっていければと考えています。
○地域が最も関心のあることは、どこに出来るのかという事です。10年間のスパンで進めていく中で、最終的に一体型と言うのは分かるのですが、一番肝心なことはどこにできるかという事です。そのことに関して、教育委員会はいつ発表する予定なのでしょう。曾谷小の改築工事が始まるという事ですが、それは何のための改築なのでしょう。一体型をそこに造るための改築でしょうか。もう一つは、改築に入った場合、曾谷小の子供たちはそこで授業を受けられないわけですね。その間はどのような不安もあるかと思うのですが、そこについてお聞きしたいと思います。
●どこに造るかですが、一体型校舎をどのぐらいの学校規模で造るかということを今後算定して、来年度以降の早い段階で案をご提示して、この検討委員会で検討頂きたいと思っております。この場所はこういうメリットがあってデメリットがあるというような形でお示しし、ご検討いただこうと思っています。現在は、東国分中の敷地、稲越小の敷地、曾谷小の敷地、そして別の新しい場所の4つの選択肢があると思います。

●工事スケジュールでは今のところ供用開始が令和12年になっていますが、この計画は曾谷小学校の建て替えに合わせているという事です。曾谷小学校は校舎の老朽化のために建て替えをすることになっているので、それに合わせて他の学校も一緒になって一体型校舎を造ったらどうだろうかと提案しています。稲越小と東国分中もいずれは建て替えをしなければならないのですが、かなり先の話になりますので、最初に建て替えをする曾谷小学校に合わせて義務教育学校にすることをご提案しています。

○一体型校舎と曾谷小の建て替えがくっついて出てきているので、理解しづらいところがあると思うのです。

○曾谷小の建て替えは、計画で決まっていますよね。それは一体型を目的とした建て替えですね。

●曾谷小の建て替えは、老朽化のための建て替えです。曾谷小学校を建て替えるのであれば、義務教育学校として、大きな校舎をどこかに建てましょうというのが今回のご提案です。ですから3校で一つの校舎を造ろうという話にならなければ、曾谷小学校だけ建て替えることになります。現在は、今の校舎を使いながらの建て替えを基本としているので、子供たちがどこかへ移るといった事はないと思います。今回の併設型を踏まえて、3つの学校を一つにして一貫教育を進めようとなれば、新しい校舎をどこかへ建設していきたいと思っておりますが、一貫校をつくるかどうか、話の大前提になると思います。

○それで今やっているという事ではないのでしょうか。

●今のご提案の段階で、計画となっているものではありません。ご提案を計画としていくかどうかを検討して頂いています。3つの学校を一緒にして一貫教育をやっていきたいと思いますという合意が得られれば、計画として位置づけていきたいと考えています。

○一体型校舎が想定されるという事が先ずあって、その中で曾谷小の改築があります。曾谷小の建て替えは別次元のことであり、併設型が動いていった中で、一体型が良いだろうとなれば、4つの想定される場所の中でどうしようかとなりますが、その中で、最初に曾谷小の建て替えがありますという事だと思います。

○そのようなことであれば納得できます。曾谷小の改築と一体型校舎は別次元だというのは理解が出来ます。曾谷小の建て替えがあるから曾谷小の場所になるのかと思ってしまいました。それなら理解できます。

○先ほどの話では、令和3年度からスタートという形でしたが、3校統合が難しいという事になった場合には、廃案になるような話だと思います。来年からスタートして、数年やって、やっぱり無理という話になるという可能性もあるという事ですね。

●併設型でスタートさせて頂くのですが、一つの組織にするのが無理だとなれば、市として小中一貫教育を推進していますので、併設型の体制のままという可能性はあります。先ずは併設型でやってみて、引き続き検討していきたいと思っております。

○来年から併設型が始まると、小学校、中学校は、行事から何から日程がすべて違うと思うのですが、その辺を合わせることになるのですか。そうすると保護者の関係もありますので、例えば入学式に行けなくなるとか、卒業式に参加できないなんて可能性も出てくるのではないかと思います。そうであれば、来年から慌ててやる必要があるのか疑問に思います。

●いきなり揃えるという事は出来ないもので、3年度から検討を始めながら、3年間かけて、併設型でどのような一貫教育が出来るかという事を徐々に進めていくという事です。ですから3年度からいきなり、入学式の日をこの日にしましょうとか、運動会をこの日に一緒にやりましょうという事ではなく、それに向かって話し合いを進めていくということです。これが出来そうだから、先ずはここから始めてみましょうというように、段階的に進んでいく感じです。ですから一気に揃えるということはありません。

●3年度に、制度を整えましょうという事です。例えば6年生が東国分中に行って授業を受けるといったことが可能になる制度、枠組みを先ずは整えて、実際に何をやるのかは学校同士で話し合って決めて頂くという事です。

○塩浜学園は、中学校と小学校の距離が50メートルくらいだったので、その時は併設と言っても比較的交流のしやすい状況であったと思います。東国分と曾谷と稲越の位置を考えると、なかなか交流のために行き来するのは現実的に難しい状況だと思っています。ただ市川市の小中一貫の推進という方針を含めて、また効果があると出ているので、前向きにやっていきたいと思っています。一番つながる感じが持てるのは、一緒に活動することだと思っています。例えば、中学生が小学校の行事の手伝いに行ったり、小学生に中学校の行事に参加してもらったりといった単発的などころから徐々に始めていくことで、お互いを理解していくことにつながっていくと思います。お互いの業務の中で無理なことは厳しいと思います。説明では、3校で話し合って決めるということですが、今の業務にプラスしてこの業務が入ってくるとすると、それぞれの学校の先生は大変だという気もしてしまいます。ですから、先ずは交流しやすいところから始めていくのが、分かりやすく、子供たちも楽しい、良かったと思います。徐々に交流を深め、行事から諸活動、そして最終的に授業になっていくと思います。中学校の教員が小学校に行き授業の手伝いをする事になると思うのですが、この距離では、授業間の休み時間が10分しかないので厳しいと思っています。生徒同士、職員同士の交流を少しずつ深めていければと考えています。

○学校に丸投げではなく、教育委員会もコーディネートをしながらか、そして、課題の解決を図っていただきながら徐々にと言うことでよろしいですね。

●会議には教育委員会も毎回入りながら、一緒にやらせて頂きたいと思っています。また方針の中で人の配置ということもありましたが、業務が集中しないようにサポートしていきたいと思っています。

○では協議と言うことで、併設型小学校・中学校については、皆さんから色々ご意見を頂きながら進めていくという事で、合意が得られたという事でよろしいでしょうか。どうもありがとうございます。では教育委員会の方も、よろしくお願いたします。

○今後の方向性

- ・東国分中学校、曾谷小学校、稲越小学校を、令和3年度より小中一貫型小学校・中学校（併設型）とします。
- ・現在の小・中学校の枠組みは残したまま、小中一貫教育を進めます。

(3) 通称名について

① 説明事項：通称名について（提案）

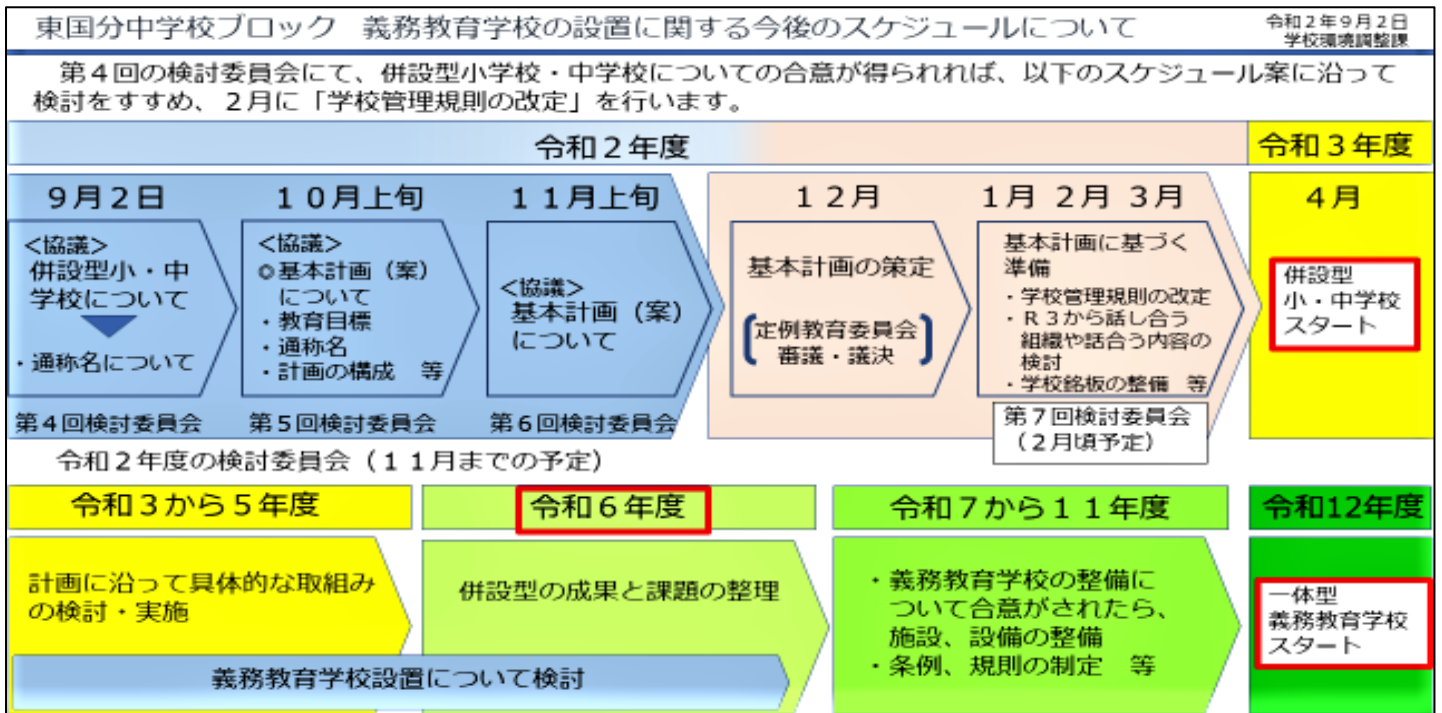
○併設型小学校、中学校を実施するにあたり、東国分中学校ブロックの児童生徒や教職員、保護者が一体感を持ち、一貫教育がより推進されるよう、通称名をつけることをご提案致します。どのような通称名にするのかを決める際には、児童生徒たちが主体となって決められるよう、進めていきます。

② 協議の内容（○：委員長及び委員 ●：事務局）

○通称名をつくっていただくという事につきましては、皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございます。決め方につきましては、地域がこの中に入っているの、ありがたいと思います。児童生徒はもちろん保護者の方も入れて頂き、このような形で広く公募して頂ければと思います。通称名については先ほど皆さんのご了解を頂いたのですが、このスケジュールですと、10月に皆さんに一度見て頂かなければいけないのですが、その辺もご協力を頂けるという事でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(4) 義務教育学校の設置に関する今後のスケジュールについて

① 説明事項：義務教育学校の設置に関する今後のスケジュール（案）



② 協議の内容（○：委員長及び委員 ●：事務局）

- スピード感を確認されたものがこれになります。併設型が決まりましたら、また説明などはあります。
- 決まりましたら、保護者の皆様に説明会を行ってまいります。そして児童生徒の皆さんにも、こういうことをやっていくという説明をしなくてはならないので、それと合わせてやっていくという事になります。
- 前回、7月30日に来ていただいた方が、色々知りたいので説明の機会を欲しいと言っていましたので、ぜひやって頂きたいと思います。このスケジュールでご了解いただけますでしょうか。
- 基本計画は教育委員会から出されると思うのですが、3校それぞれには教育目標なり、教育目標を実践するための考え方があると思うのです。私としては、それぞれ3校でどんな教育目標をもって教育を推進しているのかという事を、調整課から案が出される前に提示してもらいたいと思います。その場で提示して頂く案が良いか悪いかと言う前に、自分たちなりに各学校の教育目標に鑑みて、より良い基本計画とはどうあるべきかと考えて、次回に臨みたいと思います。そのために、各学校のそういうものをご提示いただければと思うのです。自分の考えをもって10月の会議に臨み、皆さんの意見を聞きながら、新しい学校、併設型の学校の基本計画はどうあるべきかを煮詰めていきたいと思っております。それから場所についても、案をその中に入れてもらえるのかどうかと考えています。スケジュールについては、提案の通り進めて頂ければと思います。
- 教育目標のことですが、10月の素案の中に3人の校長先生に考えて頂いた教育目標を入れてご提案したいと考えておりますので、そこで協議いただきたいと思っております。教育委員会で教育目標をつくるという事ではありません。それから場所については、未だ基本計画には書けないと思いますが、これから協議していくという内容で、素案の中に入って来るかと思っております。
- これで大きなところの共通理解を皆さんから頂きました。ありがとうございます。